

博物館経営論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 日本博物館協会では「博物館の原則 博物館関係者の行動規範」を平成24年に制定した。以下の「博物館の原則」の10項目は、「博物館関係者の行動規範」の10項目に対応して、その行動規範の前提となる原則を示している。各文の①～⑩の()内について下の語群から最も適切な語句を選び、文を完成させなさい。(各2点)

1. 博物館は、学術と文化の継承・発展・創造と(①)を通じ、人類と社会に貢献する。
2. 博物館は、人類共通の財産である資料及び資料にかかわる(②)の(③)を尊重する。
3. 博物館は、設置目的や使命を達成するため、人的、物的、(④)な基盤を確保する。
4. 博物館は、使命に基づく方針と目標を定めて活動し、成果を(⑤)し、改善を図る。
8. 博物館は、その活動の充実・発展のため、(⑥)の向上に努める。
9. 博物館は、関連機関や地域と連携・協力して、(⑦)な力を高める。
10. 博物館は、関連する法規や(⑧)、(⑨)を理解し、(⑩)する。

遵守	専門的力量	総合的	倫理	考慮	教育普及
規範	多面的価値	財源的	環境	評価	知的

2. 平成29年6月に成立した文化芸術基本法について、①～⑩の()内について下の語群から最も適切な語句を選び、文を完成させなさい。(各2点)

文化芸術基本法は平成13年に制定された(①)を改正したものである。この法律により、政府が定める「(②)」、地方公共団体が定める「地方文化芸術推進基本計画」(努力義務)について規定している。

第一章 総則

(基本理念)

第二条

- 3 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であることに鑑み、国民がその年齢、(③)の有無、(④)状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図られなければならない。
- 8 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、(⑤)、児童、生徒等に対する文化芸術に関する教育の重要性に鑑み、学校等、文化芸術活動を行う団体（以下「文化芸術団体」という。）、家庭及び地域における活動の相互の連携が図られるよう配慮されなければならない。
- 10 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の(⑥)を尊重しつつ、(⑦)、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

第三章 文化芸術に関する基本的施策

(美術館、博物館、図書館等の充実)

- 第二十六条 国は、美術館、博物館、図書館等の充実を図るため、これらの施設に関し、自らの設置等に係る施設の整備、(⑧)等への支援、芸術家等の配置等への支援、文化芸術に関する作品等の(⑨)及び(⑩)への支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

展示	固有の意義と価値	文化芸術推進基本計画	観光	保存	障害
文化芸術振興基本法	経済的な	青少年	地域振興	乳幼児	記録

3. 博物館のステークホルダー（利害関係者）とは、どのような主体が考えられるか。想定されるステークホルダーを10主体以上、記述しなさい。なお、名称については、その主体が想起できるものであれば任意で良い。なお、以下で例示している「学芸員」等は解答から除く。（5点）

例：学芸員（＝キュレーター、博物館専門職員等）

4. 博物館経営において、売上の増減に関わらず発生する一定の額の費用（固定費）を3

つ挙げなさい。なお、費用の名称（科目）については、任意で良い。（5点）

5. 博物館の経営評価は、各年度の事業計画の達成状況やその他の運営状況について自己点検を中心とした内部評価に加え、外部評価の実施努力が求められている。外部評価の意義について100字程度で論じなさい。（10点）

6. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成二十五年法律第六十五号）が平成25年に制定され、平成28年度から施行されている。この法律の趣旨は、「何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない。」として、差別を解消するための措置を国及び地方公共団体に義務付けている。地方公共団体が設置する博物館についても差別解消のための合理的配慮の提供に法的義務が生じている。

そこで、博物館における障害に対する合理的な配慮について、想定される障害の内容を明記した上で、合理的配慮の具体的な事例や方法を400字程度で論じなさい。（20点）

7. 近年、社会における博物館への期待が高まりつつある中で、博物館が果たすべき役割が多様化している。このことから、博物館は事業を実施する上で、他の博物館や社会教育施設（またはそれに類する施設）、各種団体や地域社会との緊密な協力・連携が求められている。この連携が博物館にもたらす経営上のメリット・デメリットについて400字程度で具体的な連携相手を想定した上で論じなさい。（20点）